イノチオ診断室からの
病害虫情報

2020年
3月号

灰色かび病の持ち込みが増加しています！

キク 灰色かび病

ナス　灰色かび病

病原菌	*Botrytis* 属菌（糸状菌）
感染作物	トマト・キク・キャベツ・ハクサイ・メロン・キュウリなど　多犯性病害
症状	茎・葉・果実などあらゆる部位に発生 被害部が褐変腐敗し、灰色で立体感のあるかびが発生する 腐生性があり、枯れた部分に寄生した後、広がっていく場合が多い 一度発生すると、止まりにくい
多発条件	10～20℃程度で多湿が続く圃場 ※ 35℃以上では生育できないため盛夏には少ないが、梅雨の時期や、施設栽培の夜間では温度や状況(締め切りなど)によっては高湿度となり発生の危険性あり 密植栽培、軟弱気味な樹勢、結露の発生
対策	咲き終わった花がらや、被害株の除去 換気の実施、及び送風や循環扇を稼働させる 薬剤散布 (ゲッター、ファンタジスタ、アフェット、ピクシオ、カンタス、ロブラールなど) **※農薬はラベルを確認後ご使用ください。**

気象庁 1カ月予報

気温：高い　降水量：平年並み～多い
日照時間：ほぼ平年並み

今冬は平年より気温が高い日が続いており、今後はさらに気温や湿度が上昇して多発する危険があります。今後も上記対策などで予防に努めることをお薦めします。